



## 問 新型コロナで一斉休校、対策は

## 答 臨時校長会や対策本部会議で対応



みすずの会  
あべ こうし 議員

**問** 国の要請だが、一斉休校の権限は村の教育委員会にある。感染防護、児童生徒の心身への影響、家庭の経済的負担増などへの対策は。

**答** 国の要請は突然で驚いたが、専門家の見解もあり、緊急に対応した。学童クラブでも感染リスクはあるが、手洗い、換気を徹底し、予防に努める。学校を開放し、環境を整える。児童生徒へは担任が電話連絡を取り、状況を確認する。課題は臨時校長会、村の対策本部会議、関係部局で検討・対応する。

障がい者支援事業

**の廃止は撤回を**  
**答** 配慮に欠けた面はあるが問題ない

**問** 2月に突然届いた支援事業廃止の通知に関係者は衝撃。障害者基本法や村の条例などを考慮せず、廃止理由に妥当性がない。障がい者の気持ちや生活の実情を理解して廃止は撤回を。

**答** 令和2年度実施計画策定方針に基づき政策会議、庁議を経た。法的にも問題はない。少し配慮に欠けた面はあるが、総合的に点検し、見直しを行った。今後、次期計画に支援について立案し盛り込む。



障がい福祉課は「なごみ」の中にあります

## 問 子育て支援拡充への取り組みは

## 答 送迎サービスなどニーズに対応



公明党  
うえき しんじ 議員

**問** 住民の方から、子育て支援の取り組みで「車での送迎サービスがある」との声を受け、村に対し取組を求めてきた。このほど新規事業が始まると聞いたが内容は。

**答** 令和2年度の子育て支援新規事業としてファミリー・サポート・センター事業の実施を予定している。現在、社会福祉協議会の支援を受けた有償サービスとして「保育サポート・すくすく」が子どもを預かる援助活動を実施している。既存の活動をそのままの補助対象と位置づけること

で、安定した支援体制の構築が期待できる。

**問** 具体的にはサポート内容等、どう拡充するのか伺う。

**答** この事業は、子育て支援を進める上で重要な役割を果たしてきた「保育サポート・すくすく」の取組を将来にわたり継続させるもの。サポート会員の増加によって、体制が強化された際には、保育を行う場所までの送迎サービスなど、多様化する保育ニーズに対応したサポート内容の拡充を目指す。



総合福祉センター「絆」での一時預かり保育の様子

一般質問